



雪の布沢も良い！

南会津 布沢戸板山周辺

山口

【日時】 2008年3月22日～23日

【メンバー】 田村（L）、古野、山口、煤孫、小池

春や秋には何度も通った布沢であるが、雪の時期に行くのは初めてであった。今回は田村君の発案で雪の布沢周辺を自由にのんびり逍遥するという計画で、新人の小池さんも加わり、それにふさわしいメンバーが揃った。

夕沢集落の先の夕沢橋を渡った所で除雪が終わっているのでそこに車を置く。小池さんに読図を教えながら雪に覆われた畑の脇を通って、熊ノ沢の右俣を目指し鞍部を乗越す。右俣沿いには雪に覆われているが林道のような道が通っている。この道沿いに下ると本流との出会い付近で川が開いているので、一旦本流との間の尾根に上がってから本流側に下る。本流沿いは川が開いていて、秋とは違って変わって水量が多く驚く。高巻いたりスノーブリッジを渡ったりしながら詰めて行き、源頭の適当な所で幕とする。水作りの必要もなく、時間があるので尾根を越えて大滝沢側に散策に行く。大滝沢は完全に開いていて、葉の落ちたブナ林がどこまでも広がっていた。再び登り返して戸板山の方に少し行ってからテン場に戻っても、まだ時間はたっぷりであった。翌日は熊ノ沢と大滝沢の間の尾根に上がり、布沢林道に向ってのんびり下って行った。

今の時期葉を落としたブナの森は見晴らしがよく、ゆるやかな尾根を気ままに歩くと、大きな洞のある枯木や古びたブナの大木が何本もある。どこでも自由に歩き廻れるので近寄って見上げて立派さに思わずため息。田村君に教えてもらいながらカモシカやキツネらしき足跡を追ったり、キツツキのドラミングに耳を澄ませる。ムササビやウサギ、カモシカのフンを観察したり突っついたり。ヤドリギの実を食べたり、枝から落ちた鳥の巣を見つけたり、ガの繭を見つけた人も。遠く浅草岳や守門岳も霞んで見え、双眼鏡で覗きながら、あれは登山者かどうかなどとワイワイ騒いでいる。普段の山行ではなかなかやらないことをやりながら、のんびりと春の山を楽しむことができた。もう少し遅い時期、ブナの芽吹きが始まる頃にまた来てみたい。きっと素晴らしいことだろう。

【行程】3/22 夕沢橋 (9:30) ～ 熊ノ沢二俣 (11:30) ～ 熊ノ沢左俣右沢 c 650mBP (13:15)
～大滝沢往復 (14:00-15:00)

3/23 BP (8:10) ～ 大滝沢左岸尾根 c 692m (9:25) ～ 林道 (10:40) ～ 夕沢橋 (11:45)

【地図】 会津横田、会津小林、野尻、和泉田

<http://www.tomanokaze.dojin.com/>